



病児保育室からのお知らせ

2023年11月



なないろの里保育園

日が暮れるのもすっかり早くなり、秋も深まってきました。昼夜の寒暖差も大きいいため、「何を着せようか？」と朝から頭を悩ませる時期かと思います。子どもたちは外気温の影響を受けやすいため、調節しやすい服装を心がけましょう。また、乾燥が気になるシーズンです。加湿と換気をしながら、体調管理には十分気をつけていきましょう。

🍁 今月のトピック 🍁

咽頭結膜熱（プール熱）について

主な症状：発熱、のどの腫れ、目の充血、頭痛

アデノウイルスによる夏風邪のひとつで、「プール熱」と呼ばれるように本来7-8月に流行のピークを迎えるのですが、今年は未だに感染者の増加が認められており、宮城県では10月12日より6年ぶりに県全域に「プール熱警報」が出されています。仙台市においても増加傾向にあり、注意が呼びかけられています。

潜伏期間は1週間ほどで、最初はのどが赤く腫れて痛み、39-40度の高熱が4-6日ほど続きます。そのほかに耳の前やあごの下のリンパ節の腫れ、目の充血、涙目、目やにといった結膜炎の症状を伴います。プール熱を根本的に治す治療薬はないため、症状を緩和する対症療法が中心となります。おうちでは、十分な水分摂取を心がけ、食事はのどの痛みを刺激しないようにのどごしがよく消化のよいものをおすすめです。

国が定めるガイドラインにより、プール熱に感染した場合、主な症状が治まったあと2日を経過するまでは、登園・登校することはできません。

11月12日は「皮膚の日」

涼しくなり始める秋は、気温の変化により肌がダメージを受けやすい季節です。空気が乾燥していると、皮膚の水分が失われやすくなります。こまめな保湿を心がけましょう。

感染症について



病児保育室では、10月は上気道炎での利用が多くみられました。咽頭結膜熱（プール熱）の問合せも出てきています。引き続き「手洗い・うがい」をしっかりとこない感染対策を継続しましょう。

お問合せ

TEL：080-3335-7716

月曜日～金曜日

8：30～18：00

担当看護師：神戸・佐藤

